

令和 8 年度

東北医科薬科大学大学院薬学研究科
薬科学専攻博士課程前期課程

学生募集要項

推薦入学試験

一般入学試験

(一次募集・二次募集)

社会人入学試験

外国人留学生特別選抜試験

目 次

- P.1 ディプロマポリシー, カリキュラムポリシー, アドミッションポリシーについて
- P.2 入試日程
- P.2 募集分野
- P.2 出願手続等
- P.4 納付金
- P.4 問合わせ先
- P.5 主な研究テーマ
- P.7 推薦入学試験
- P.8 一般入学試験
- P.10 社会人入学試験
- P.12 外国人留学生特別選抜試験

【 薬科学専攻博士課程前期課程 】

薬科学専攻博士課程前期課程は、基礎薬学を土台に医学と薬学の 2 つの領域にまたがる生命科学を学び幅広い分野で活躍できる人材の養成を目標としている学部 4 年制「生命薬科学科」の上に、平成 22 年 4 月に設置された博士課程前期課程（2 年制）です。前期課程のディプロマポリシー（学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）、アドミッションポリシー（入学者受入方針）は以下のとおりです。

○ディプロマポリシー

本学の教育理念に基づく教育課程の講義、演習、課題研究を通して、以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得し、修士学位論文の審査に合格した学生に学位（修士（薬科学））を授与します。

1. 薬科学領域の研究に関する基礎知識・理解力・技能を身に付けている。
2. 薬学および医療に関わる研究者、製薬技術者、環境・衛生技術者、高度医療情報提供者としての基礎的能力を身に付けている。
3. 自己研鑽の姿勢と高い倫理観を有し、国民の健康と福祉に貢献することが期待できる。

○カリキュラムポリシー

専攻分野によって生命科学コースと創薬科学コースを設け教育課程を編成しています。両方のコースとも、特論講義科目において、生命科学研究、創薬科学研究を可能とする基礎教育に重点を置きながらも、より幅広い知識を身につけられるようにしています。また、医療薬学的知識も修得できるよう講義科目を揃え、薬学専攻の教室を協力研究室として加え講義の充実を図っています。さらに、薬の安全性、医療現場を理解する上で有用な基礎薬学研究に関する特論講義も合わせて開講し、後期課程への継続性を踏まえた科目構成と研究指導体制をとっています。課題研究では、指導教員が 2 年間を通して指導にあたり、実験研究を通じて高度な専門的知識を修得させ、理論と実践の調和のとれた研究者・技術者の育成を図ります。

○アドミッションポリシー

1. 自ら創造的な思考力を発揮し、新しい問題に意欲的に取り組む能力を身につけることができる学生を求めています。
2. 科学的探求心および強い学習への意欲を培い、広い学識の修得を目指す学生を求めています。
3. 国際的にも活躍できる創薬科学研究者・技術者、高度医療情報提供者、環境・衛生技術者、医療を支える基礎分野の専門職業人等としての能力を身につけることができる学生を求めています。
4. 基礎薬学・分子薬学を基盤とした創薬・生命科学の専門的知識、技術の修得を通じて、製薬、化学工業、食品、化粧品、バイオなどの多様な業種の企業、各種研究所で活躍できる能力を身につけることができる学生を求めています。

1. 入 試 日 程

入 試 区 分	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日
推 薦 入 学 試 験	令和7年6月16日(月) ～ 令和7年6月20日(金)	令和7年7月1日(火)	令和7年7月8日(火)
一 般 入 学 試 験 (一 次 募 集)	令和7年7月22日(火) ～ 令和7年7月25日(金)	令和7年8月22日(金)	令和7年9月3日(水)
一 般 入 学 試 験 (二 次 募 集)	令和8年1月19日(月) ～ 令和8年1月23日(金)	令和8年2月2日(月)	令和8年2月13日(金)
社 会 人 入 学 試 験			
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 試 験			

2. 募 集 分 野

創薬科学コース (専攻科目)	・分子薬化学 ・臨床分析化学※ ・医薬情報科学※ ・医薬合成化学 ・薬理学※ ・薬物動態学※ ・天然物化学 ・環境衛生学※ ・糖鎖構造生物学 ・生薬学※ 以上 10 研究室 (※印は協力研究室)			
生命科学コース (専攻科目)	・分子認識学 ・感染生体防御学 ・機能病態分子学 ・放射薬品学※ ・細胞制御学 ・機能形態学※ ・生化学 ・病態生理学※ 以上 8 研究室 (※印は協力研究室)			

* 募集分野の研究テーマについては、P.5「6. 主な研究テーマ」をご確認ください。

3. 出 願 手 続 等

(1) 出 願 期 間

上記1. 入試日程の通り。

(2) 提 出 先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課 宛

郵送の場合は、必ず書留郵便とし「薬科学専攻博士課程前期課程願書在中」と朱書きすること。

【 持参の場合 】 受付時間は平日午前9時から午後5時15分までとする。

(3) 出 願 書 類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

提 出 書 類	推薦 入学試験	一般 入学試験	社会人 入学試験	外国人留学生* 特別選抜試験
① 入学志願票(本大学院所定の用紙)	○	○	○	○
② 健康診断書 在学中の場合は、所属大学が発行する健康診断証明書。	○	○	○	○
③ 卒業(見込)証明書 修士課程を修了している者は、学部・大学院どちらも提出のこと。	○	○	○	○
④ 学部成績証明書 修士課程を修了している者は、学部・大学院どちらも提出のこと。	○	○	○	○
⑤ 入学検定料(35,000円) 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。	○	○	○	○
⑥ 所属長等の受験許可書(形式自由) 官公庁または会社等に勤務中の者のみ。		○ (該当者のみ)	○	
⑦ 推薦書(形式自由) 官公庁または会社等に勤務中の者、もしくは外国人で入学を希望する者のみ。官公庁または会社等に勤務中の者については所属長等の推薦書とし、外国人で入学を希望する者の場合は当該駐日外国公館またはこれらに準ずる機関の推薦書とする。		○ (外国人のみ)	○	
⑧ 本大学院が選考に必要と判断した書類 提出が必要な場合、出願者に別途指示する。		○ (指示のある場合のみ)	○ (指示のある場合のみ)	○ (指示のある場合のみ)

※ 外国人留学生特別選抜試験を受験する者については、上記の書類に加え、下記ア～エも提出すること。

- ア. 誓約書(留学生署名)兼身元保証書(保証人署名)
- イ. 日本語能力認定書もしくは財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験のうちの日本語試験の成績証明書
- ウ. 住民票の写し(現に日本国内に在住している者)
- エ. 外務省在外公館又は外国政府が発行する留学資格証明書

(4) 出 願 上 の 注 意 事 項

- ① 出願書類の請求は学務部教務課宛に返信用として180円分の切手を同封のうえ、申込むこと。
- ② 出願書類を郵送する場合は受験票を本人宛に郵送するので、返信用として110円分の切手を同封すること。
- ③ 志願者は、希望研究室責任者と必ず事前に相談すること。
- ④ 志願票の志望教室記入欄は、第1、第2希望の研究室まで記入すること(推薦入学試験の場合は第1希望のみ)。
- ⑤ 募集要項の詳細について学務部教務課まで問い合わせること。

(5) 個 人 情 報 の 取 り 扱 い に つ い て

出願書類等に記載されている個人情報、大学院入試事務・統計及び学籍情報管理以外には使用しません。

(6) 長期履修制度

本学の規定により、長期履修制度を申請することが出来る。申請については、学務部教務課へ問い合わせること。

*長期履修制度とは、就業、育児、介護等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを認める制度である。

4. 納 付 金

令和8年度入学者 納付金一覧表

	博士課程前期課程	摘 要
入学検定料	35,000円	
入 学 金	200,000円 (100,000円) ※ 1, 3	入学時のみ納入
授 業 料	400,000円 (200,000円) ※ 2, 3	年額

※1：入学金についての（ ）内は、本学学部卒業者の納付額とする。

※2：本学に勤務する職員が本学大学院に社会人入学した場合、当該者からの減免願の申請に基づき、授業料の半額を免除する。ただし、減免の期間は、標準修業年限とする。

※3：私費外国人留学生については授業料等減免規程により、申請によって入学金および授業料について全部またはその一部を減免することがある。

5. 問 合 せ 先

〒981-8558

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部教務課

TEL:022-234-4181 FAX: 022-275-2013

6. 主な研究テーマ

(1) 創薬科学コース

〔研究室名〕 研究室責任者名	研 究 テ ー マ
〔分子薬化学〕 教授 吉村 祐一	・新規代謝拮抗剤や核酸医薬構成素子の開発を目指したヌクレオシド誘導体のデザインと合成 ・新規有機分子触媒の開発研究 ・有機金属錯体を用いた新規有機化学反応の開発とその応用研究 ・立体選択的イミノ糖誘導体の合成とその生物活性評価
〔医薬合成化学〕 教授 渡邊 一弘	・創薬を指向した生物活性天然物の全合成 ・生物活性物質の合成を目指した新反応の開発 ・新しい分子標的（難治性疾患など）に対する制御物質の設計・合成・活性評価最適化に関する研究（医薬品候補化合物の開発） ・民間企業と連携したサプリメントの合成と実用化研究
〔天然物化学〕 教授 内田 龍児	・創薬を目指した天然資源（微生物・植物など）からの有用生物活性物質の探索 ・特殊培養条件による新規生物活性物質の創出 ・希少微生物資源の網羅的解析による天然化合物ライブラリーの拡充
〔糖鎖構造生物学〕 教授 山口 芳樹	・糖鎖構造多様性の生物学的意義の探求 ・糖鎖構造生物学を推進するための方法論の開拓 ・糖鎖の受容と情報伝達のメカニズム解明と薬物設計への応用 ・糖タンパク質合成・糖鎖構造制御技術の開発と医薬品開発への応用
〔臨床分析化学※〕 教授 藤村 務	・臨床領域におけるバイオマーカーの探索 ・マルチオミクス解析を利用したバイオマーカーの探索 ・ステロイドホルモンの超高感度分析法の開発ならびに体内動態の解析への応用 ・電気化学センサー（バイオセンサー）の開発
〔薬理学※〕 教授 丹野 孝一	・脊髄疼痛伝達機構におけるアンジオテンシン系の役割の解明 ・精神神経疾患動物モデルの作製とその発症機序の解明 ・生活習慣の乱れに基づく疾患動物モデルの作製とその発症機序の解明 ・膜結合型プロテアーゼADAM分子による疼痛制御機構の解明
〔環境衛生学※〕 教授 黄 基旭	・種々の化学物質による毒性発現機構の解析 ・メチル水銀による炎症応答を介した脳神経傷害機構の解析 ・異物代謝に影響を及ぼす環境因子の検索と作用機構解析 ・生体防御に関わる新規因子の検索とその機能解析 ・生体防御機能亢進作用を有する新しい医薬品の開発
〔生薬学※〕 教授 佐々木 健郎	・漢方方剤とその構成生薬の有効成分及び作用機序の解明 ・モンゴル薬用植物及び東北地方の薬用植物における有用成分の探索と有効利用に関する研究 ・植物由来の機能性分子を応用した新規保健衛生用品及び医薬品の開発
〔医薬情報科学※〕 教授 村井ユリ子 （兼任）	・医薬品情報のビジュアル化による各種医薬品情報の体系的解析と臨床応用 ・機械学習（人工知能）手法を応用した各種臨床検査測定値の組み合わせによる新スクリーニング法の開発および病勢マーカーの創出 ・レセプト情報、特定健診等情報データベースをはじめとした各種医療オープンデータの探索的解析
〔薬物動態学※〕 教授 富田 幹雄	・吸収制御因子修飾による低吸収性薬物の消化管吸収性改善 ・消化管粘膜バリア機能解析に基づいた潰瘍性大腸炎の根治を可能とするDDS製剤の開発 ・有機アニオン輸送体OATP4A1の小腸薬物吸収における役割の解明 ・経口製剤の吸収制御と消化管毒性

※印・・・協力研究室

(2) 生 命 科 学 コ ー ス

〔研究室名〕 研究室責任者名	研 究 テ ー マ
〔分子認識学〕 教授 細野 雅祐	・リボヌクレアーゼ活性を有するシアル酸結合性レクチンのがん細胞増殖抑制機構の解析 ・スフィンゴ糖脂質Gb3のがん細胞における機能およびラムノース結合性レクチンとの相互作用機序の解明 ・レクチンと抗腫瘍薬の併用効果とその作用メカニズムに関する研究
〔機能病態分子学〕 教授 稲森 啓一郎	・スフィンゴ糖脂質分子種による炎症性シグナル制御機構の研究 ・炎症性疾患におけるスフィンゴ糖脂質の病態生理的役割の解明 ・糖脂質合成酵素の発現・活性制御機構の研究
〔細胞制御学〕 教授 顧 建国	・細胞接着・細胞間コミュニケーションにおける糖鎖の役割 ・がん転移・浸潤に関わる糖タンパク質受容体の糖鎖機能 ・糖鎖と疾患への関わり(脳神経異常) ・がん薬剤耐性における糖鎖の機能
〔生化学〕 教授 関 政幸	・真核細胞の DNA 複製・修復・組換えの研究 ・染色体レベルでの大規模なゲノム編集を行う技術の開発 ・相乗効果を生む抗がん剤の組み合わせの探索と評価 ・細胞分裂を標的とした新たな癌治療を目指した基礎研究
〔感染生体防御学〕 教授 佐々木 雅人	・代謝関連遺伝子異常による発がん・がん進展機構の研究 ・細胞内代謝産物量変化が細胞機能にもたらす影響の解析 ・病原性真菌の細胞壁多糖構造の解析 ・真菌細胞壁多糖の構造制御機構とその意義に関する研究
〔放射薬品学※〕 教授 山本 文彦	・高分子ミセルを用いた核医学分子イメージング剤および核医学治療剤の開発 ・低分子リード化合物を用いた新規分子イメージング剤開発と機能評価 ・生体レドックス動態を反映する分子イメージングプローブの創製 ・放射線耐性細胞の増殖能獲得メカニズムの解明
〔機能形態学※〕 教授 溝口 広一	・副作用の少ない新規強力鎮痛薬の開発 ・μ オピオイド受容体スプライスバリエーションの機能解析 ・難治性疼痛発現機構の解明 ・難治性内臓痛の病態解明と治療薬の開発 ・搔痒のメカニズム解明と特異的治療薬の開発
〔病態生理学※〕 教授 高橋 知子	・肺組織幹細胞の分化に関する研究 ・気管支喘息増悪因子による病態修飾機序の解析と新規治療戦略の開発 ・心理的ストレス：脳科学と免疫学の橋渡し研究による新たな病態の探求と治療 ・神経内分泌細胞の分化成熟に関する研究

※印・・・協力研究室

I 推薦入学試験

1. 募集人員 3名

2. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日
令和7年6月16日(月) ～ 令和7年6月20日(金)	令和7年7月1日(火)	令和7年7月8日(火)

3. 出願資格

次の各項目の要件をすべて満たす者

- (1) 本学の学生(4年制)で令和8年3月卒業見込の者
- (2) 3年次までの必修科目の成績順位が上位半数以内の者
- (3) 本大学院を専願の者

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断証明書
- (3) 卒業見込証明書
- (4) 学部成績証明書
- (5) 入学検定料(35,000円) : 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。

5. 入学者選考方法

(1) 選考方法

小論文、面接および3年次までの必修科目の成績を総合判定する。

(2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
令和7年7月1日(火)	14:00 ～ 15:00	小論文	東北医科薬科大学 小松島キャンパス 〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1
	15:30 ～	面接	

6. 奨学金制度、ティーチング・アシスタント制度

日本学生支援機構奨学金、東北医科薬科大学ティーチング・アシスタント制度に応募することが出来る。
奨学金については学生課、ティーチング・アシスタントについては庶務課へ問い合わせること。

Ⅱ 一般入学試験

1. 募集人員 3名

2. 入試日程

募集区分	出願期間	試験日	合格発表日
一次募集	令和7年7月22日(火) ～ 令和7年7月25日(金)	令和7年8月22日(金)	令和7年9月3日(水)
二次募集	令和8年1月19日(月) ～ 令和8年1月23日(金)	令和8年2月2日(月)	令和8年2月13日(金)

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者(令和8年3月卒業見込の者を含む)
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者(令和8年3月末までに学士の学位を授与される見込みの者を含む)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者(令和8年3月末までに修了見込みの者を含む)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者(令和8年3月末までに修了見込みの者を含む)
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者(令和8年3月末までに修了見込みの者を含む)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(令和8年3月末までに修了見込みの者を含む)
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学した者(外国において学校教育における15年の課程を修了した者を含む。)であって、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めるもの
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年4月1日時点で22歳に達したもの

※1 (2)～(8)に該当する場合は、事前に学務部教務課まで問い合わせること。

※2 出願資格(9)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を令和7年6月13日(金)(一次募集)、令和7年12月12日(金)(二次募集)迄提出すること。

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書 : 在学中の場合は所属大学が発行する健康診断証明書
- (3) 卒業(見込)証明書
- (4) 学部成績証明書
- (5) 入学検定料(35,000円) : 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 所属長等の受験許可書(形式自由) : 官公庁または会社等に勤務中の者のみ
- (7) 当該駐日外国公館またはこれらに準ずる機関の推薦書(形式自由) : 外国人で入学を希望する者のみ

5. 入 学 者 選 考 方 法

(1) 選 考 方 法

外国語（英語）、薬学専門科目筆記試験および面接を総合判定する。

(2) 試 験 日 程

試験日	時 間	科 目	試験場
(一次募集) 令和7年8月22日(金) (二次募集) 令和8年2月2日(月)	9 : 00 ~ 10 : 00	外国語（英語）	東北医科薬科大学 小松島キャンパス 〒981-8558 仙台市青葉区 小松島4-4-1
	10 : 30 ~ 12 : 00	専門科目（出題数） 有機化学 2 問 生化学 2 問 物理化学 1 問 薬理学 1 問 生理学 1 問 天然物化学 1 問 衛生化学 1 問 分析化学 1 問 10 問 志願者は10問中3問を解答すること。	
	13 : 00 ~	面 接	

6. 奨学金制度、ティーチング・アシスタント制度

日本学生支援機構奨学金、東北医科薬科大学ティーチング・アシスタント制度に応募することが出来る。
奨学金については学生課、ティーチング・アシスタントについては庶務課へ問い合わせること。

Ⅲ 社会人入学試験

1. 募集人員 若干名

2. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日
令和8年1月19日(月) ～ 令和8年1月23日(金)	令和8年2月2日(月)	令和8年2月13日(金)

3. 出願資格

研究機関、企業、病院など同種の業種において1年以上（入学時点）勤務しており、入学後も所属長等の許可を得て、引き続き在職できる者で、かつ次のいずれかの条件を満たしている者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学した者（外国において学校教育における15年の課程を修了した者を含む。）であって、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めるもの
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年4月1日時点で23歳に達したもの

※1 (2)～(8)に該当する場合は、事前に学務部教務課まで問い合わせること。

※2 出願資格 (9) に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を令和7年12月12日(金)迄提出すること。

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

- (1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)
- (2) 健康診断書
- (3) 卒業証明書
- (4) 学部成績証明書
- (5) 入学検定料(35,000円)：出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。
- (6) 所属長等の受験許可書(形式自由)
- (7) 所属長等の推薦書(形式自由)
- (8) 本大学院が選考に必要と判断した書類：提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

5. 入 学 者 選 考 方 法

(1) 選 考 方 法

外国語（英語）の筆記試験、小論文、面接および推薦書を総合判定する。

(2) 試 験 日 程

試験日	時 間	科 目	試験場
令和8年2月2日(月)	9 : 00 ~ 10 : 00	外国語（英語）	東北医科薬科大学 小松島キャンパス 〒981-8558 仙台市青葉区小松島4-4-1
	10 : 30 ~ 12 : 00	小論文	
	13 : 00 ~	面 接	

Ⅳ 外国人留学生特別選抜試験

1. 募集人員 若干名

2. 入試日程

出願期間	試験日	合格発表日
令和8年1月19日(月) ～ 令和8年1月23日(金)	令和8年2月2日(月)	令和8年2月13日(金)

3. 出願資格

日本国籍を有しない者で次のいずれかに該当する者

(1) 外国の大学を卒業した者またはこれに準ずる者

(2) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(2)に該当する場合には入学資格審査を行うので、学務部教務課に問い合わせのうえ、必要書類を令和7年12月12日(金)迄提出すること。

4. 出願書類

志願者は下記の書類を取り揃え出願受付期間中に学務部教務課へ提出のこと。

(1) 入学志願票(本大学院所定の用紙)

(2) 健康診断書

(3) 卒業証明書および修了(見込)証明書 : 修士課程を修了している者は、学部・大学院どちらも提出のこと。

(4) 学部および大学院の成績証明書 : 修士課程を修了している者は、学部・大学院どちらも提出のこと。

(5) 入学検定料(35,000円) : 出願書類提出時に納めること。なお、既納の検定料はいかなる理由があっても返付しない。

(6) 誓約書(留学生署名)兼身元保証書(保証人署名)

(7) 日本語能力認定書もしくは財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験のうちの日本語試験の成績証明書

(8) 住民票の写し(現に日本国内に在住している者)

(9) 外務省在外公館又は外国政府が発行する留学資格証明書

(10) 本大学院が選考に必要と判断した書類 : 提出が必要な場合、出願者に別途指示する。

5. 入学者選抜方法

(1) 選考方法

小論文(日本語または英語で解答)、薬学専門科目筆記試験および面接を総合判定する。

(2) 試験日程

試験日	時間	科目	試験場
令和8年2月2日(月)	9:00 ~ 10:00	小論文(日本語または英語で解答)	東北医科薬科大学 小松島キャンパス 〒981-8558 仙台市青葉区小松島 4-4-1
	10:30 ~ 12:00	専門科目 (出題数) 有機化学 2問 生化学 2問 物理化学 1問 薬理学 1問 生理学 1問 天然物化学 1問 衛生化学 1問 分析化学 1問 10問 志願者は10問中2問を解答すること。	
	13:00 ~	面接	

